

8. 指定障害福祉サービス事業

(1) 気仙沼市松峰園

【概要】 障害者総合支援法及び気仙沼市障害者通所施設条例並びに指定管理基本協定に基づき、気仙沼市に居住する知的障害のある方を対象に、指定就労継続支援B型事業サービスを適切に提供し、障害者の自立を支援しました。

【事業実績】

月	就労継続支援B型	開 所 日 数	当月入所者数	当月退所者数	利用延人数	平均利用者数
4	45	21	2	0	829	39.5
5	45	18	0	0	727	40.4
6	45	22	0	0	886	40.3
7	45	22	0	0	844	38.4
8	45	20	0	0	752	37.6
9	45	21	0	0	803	38.2
10	46	23	1	0	895	38.9
11	46	20	0	0	784	39.2
12	46	21	0	0	810	38.6
1	46	20	0	1	760	38.0
2	45	19	0	0	719	37.8
3	45	23	0	0	901	39.2
計		250	3	1	9,710	38.8

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和2年6月30日	気仙沼管内介護保険施設等感染症対策研修	本吉町はまなすホール
8月7日	支援学校職員研修会受入	松峰園
9月18日～25日	市立病院附属看護専門学校実習受入	松峰園
9月18日	就労支援連絡会	気仙沼市市民福祉センター
11月12日	虐待防止研修会	松峰園
令和3年1月15日	自閉症スペクトラム障害について	松峰園
2月10日	福祉計画に関する説明会及び新型コロナウイルス感染症に関する説明会	ワンテン庁舎
2月24日	高齢者及び障害者支援施設における新型コロナウイルスワクチン接種体制に係る説明会 ※定例職員会議、課内会議は毎月実施	市民健康管理センター

【成果】 就労移行支援事業を休止し、就労継続支援B型事業担当の職員数を減らしながら利用者定員についても見直し、適切な運営を行なった結果、昨年度に比べ収支状況が改善されました。コロナ禍の中でも臨時開所を行い、感染予防に努めながら利用者の余暇活動支援を実施するとともに、サービスの質の向上に努めました。

(令和2年度障害福祉サービス等事業収入目標達成度100.3% 前年度115.4%)

【課題】 新型コロナウイルスの影響で生產品の販売ができず、収入が前年度比で57万円ほど減少しました。

【今後の取組】 集団感染が発生しないよう利用者一人ひとりの健康管理を行い、感染予防に努めながら出勤率を上げるよう取り組んでいきます。

事業活動による収入70,977,581円

事業活動による支出 62,052,095円
その他の活動による支出 3,980,196円
(基金への繰出し1,500,000円含む)
当期資金収支差額 4,945,290円

(2) 気仙沼市みのりの園

【概要】障害があっても地域で安心して生活できる施設の存在と、利用者の意思や個性を尊重し、家庭と連携を図りながら、生活の質の向上と障害者の自立に向けたサービスの提供に努めました。

【事業実績】

月	在籍者数	開所日数	当月入所者数	当月退所者数	利用延人数	平均利用者数
4	35	21	1	0	509	24.2
5	35	18	0	0	493	27.4
6	35	22	0	1	594	27.0
7	34	21	0	0	542	25.8
8	34	20	0	1	477	23.9
9	32	20	1	2	502	25.1
10	32	22	0	0	560	25.5
11	32	19	0	1	472	24.8
12	31	20	0	1	448	22.4
1	30	19	0	0	462	24.3
2	30	18	0	0	430	23.9
3	30	23	0	0	565	24.6
合計		243	2	6	6,054	24.9
前年度		241	0	1	6,764	28.1

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和2年5月21日	新型コロナウイルス感染症に関する内部研修	みのりの園
6月22日～7月14日	定期健康診断	市立本吉病院
6月24日	自衛消防訓練避難訓練（火災想定）	みのりの園
7月1日	介護保険施設等管理者感染対策研修	はまなすホール
7月7日	介護保険施設等従事者感染対策研修	はまなすホール
8月6日	救命講習・AED講習	みのりの園
9月14日	家族会懇談会（事業推進等）	本吉保健福祉センター
9月24日	自然災害発生時移動訓練	みのりの園
10月1日	整備管理者選任前研修	ポリテクセンター宮城
11月25日	虐待防止に関する内部研修	みのりの園
12月14日	防護具着脱・吐物処理に関する研修	みのりの園

【成果】新型コロナウイルス感染症への感染防止を徹底し、日頃の健康観察やうがい・手洗いを習慣化させ、健康管理に努めました。新たな生活様式を取り入れ、検温、マスクの着用、人との距離等について、利用者をはじめ、家族への感染予防の周知を図りました。施設内活動において、多動性重複性のある利用者の障害特性に応じて日中活動の場を提供しました。また、高齢期における利用者への適切な支援により安心安全な対応を図りました。活動は、主に施設内を中心に音楽活動や創作活動、園庭を活用した運動等に取り組み、コロナ禍においても楽しみと創造性を養いながら、利用者の生活意欲の向上と自立支援への働き掛けを行いました。

（令和2年度 障害福祉サービス等事業収入目標達成度 91.1% 前年度94.2%）

【課題】コロナ禍での活動の制限や自粛の長期化が予測され、従来どおりの生活が送れず家庭や施設における活動の制限等による利用者のストレス緩和への更なる創意工夫が必要です。また、利用者自身の高齢化が進むと同時に家族の高齢化が顕著となり、家庭における介護力不足が懸念されます。親亡き後を踏まえた施設や在宅サービスの確保が課題です。

【今後の取組】新型コロナウイルス感染症への更なる対策を講じながら、施設のBCP対応の推進に努めます。新しい生活様式に沿いながら、地域住民との交流活動を再開し、地域との連携の強化を図り、障害への理解を深めるとともに障害の有無に拘わらず、障害者が地域の一員として認知される地域づくりを目指します。また、施設に防災機能を持たせ安心安全なサービスを提供するとともに、施設運営に関しては、経営的視点を踏まえ運営に当たります。

【決算】事業活動収入51,872,592円

事業活動支出 45,645,415円

その他の活動による支出 12,406,660円

当期資金収支差額 -6,179,483円

（基金への繰出10,000,000円を含む。）

（前期末支払資金から充当）

(3) 気仙沼市マザーズホーム

【概要】児童福祉法及び気仙沼市障害児通所支援施設条例並びに指定管理基本協定に基づき、気仙沼及び近隣に居住する障害児及び保護者の方々を対象に、児童発達支援及び放課後等デイサービス、保育所等訪問支援事業、宮城県障害児等療育支援事業を適切に提供し、日常生活の基本動作や集団生活への適応力の向上及び保護者の養護負担の軽減や精神的安定の向上に努めました。また、令和元年度より開始しました「保育所等訪問支援事業」や県からの受託事業である「宮城県障害児等支援事業」により、各関係機関との連携が強まり、障害児やその家族が地域で安定した生活が送れるよう努めました。

【事業実績】

月	児童発達支援 放課後等デイ	開 所 日 数	当月入所者数	当月退所者数	利用延人数	平均利用者数
4	17	21	2	0	111	5.3
	21	22	2	0	151	6.9
5	18	18	1	0	154	8.6
	21	21	0	0	140	6.7
6	19	23	1	0	189	8.2
	21	26	0	0	195	7.5
7	20	21	1	0	170	8.1
	21	25	0	0	193	7.7
8	21	20	1	0	150	7.5
	21	25	0	0	161	6.4
9	22	20	1	0	160	8.0
	22	24	1	0	188	7.8
10	21	22	0	1	179	8.1
	23	27	1	0	233	8.6
11	21	19	1	1	174	9.2
	23	23	0	0	192	8.3
12	21	20	0	0	148	7.4
	23	24	0	0	203	8.5
1	21	19	0	0	145	7.6
	23	23	0	0	172	7.5
2	21	17	0	0	138	8.1
	24	20	1	0	165	8.3
3	21	24	0	7	157	6.5
	24	26	0	2	198	7.6
計	243	244	8	9	1,875	7.7
	267	286	5	2	2,191	7.7

【保育所等訪問支援事業】

月	当月入所者数	当月退所者数	訪問回数
4	1（継続児6人）	0	0
5	0	0	0
6	0	0	2
7	0	0	4
8	2	0	3
9	1	0	9
10	0	1	6
11	0	0	7
12	0	0	6
1	1	1	6
2	0	0	6
3	0	3	8
計	11	5	57

令和3年3月31日現在の利用状況

小学校・・・2校（2人）

幼稚園・・・4園（4人）

【宮城県障害児等療育支援事業】

相談件数 55 件 主な内訳としては下記のとおり

(1) 訪問による療育指導【相談件数：新規 8 件／継続 18 件】

- ・相談の傾向：「気になる子」についての相談（保護者について、対応方法について）
- ・支援の内容：幼稚園や保育所との連携

(2) 外来による専門的な療育相談・指導【相談件数：新規 4 件／継続 7 件】

- ・相談の傾向：ほぼ当施設利用者からの相談となっています。
- ・主要内容：保育所や幼稚園の入園、小学校についての相談、集団生活についての相談、集団生活についての相談、担任の先生との関わり方についての相談。

(3) 障害児の通う保育所や放課後児童クラブ、障害児通所支援事業等の療育技術の指導

- ・地域のニーズや支援内容：障害のあるお子さんの対応について（事例検討会の実施）

(4) 発達障害者地域支援マネジャーとの連携

（連携の具体例について）

- ・障害児通所支援事業所でのお子さんの対応方法について（事例検討）

- ・小学校での対応困難児に対しての巡回訪問の実施

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和2年5月28日	就学ガイダンス	気仙沼市松岩公民館
6月9日	第1回 特別支援教育推進委員会	気仙沼市中央公民館
6月19日	第1回 発達障害児支援者研修会	宮城県子ども総合センター
6月30日	感染症対策	本吉はまなすの館
7月7日	感染症対策	本吉はまなすの館
7月10日	子どもの意思決定支援 権利擁護について	気仙沼市マザーズホーム オンライン
7月17日	第2回 発達障害児支援者研修会	宮城県子ども総合センター
7月30日	気仙沼市児童福祉施設等職員研修会	気仙沼市児童センター
8月2日	就学ガイダンス	気仙沼市マザーズホーム
8月4日	第3回 発達障害児支援者研修会	宮城県子ども総合センター
8月27日	保護者支援の基本	気仙沼市マザーズホーム オンライン
8月28日	障害者計画推進委員会	ワンテン
9月16日	第2回 特別支援教育推進委員会	気仙沼市中央公民館
9月17日	ペアレントプログラム講師及び実施者養成研修	宮城県啓佑学園
10月1日	ペアレントプログラム講師及び実施者養成研修	宮城県啓佑学園
10月5日	第4回 発達障害児支援者研修会	宮城県啓佑学園
10月9日	第3回 特別支援教育推進委員会	気仙沼市中央公民館
10月15日	ペアレントプログラム講師及び実施者養成研修	NPO法人 さわおとの森
10月24日	小児の高次機能障害のリハビリテーションと支援	気仙沼市マザーズホーム オンライン
10月29日	愛着の理解と支援者のメンタルヘルスについて	宮城県子ども総合センター
10月29日	気になる子の支援 愛着障害について	気仙沼保健福祉事務所
10月30日	第4回 特別支援教育推進委員会	気仙沼市中央公民館
11月5日	ペアレントプログラム講師及び実施者養成研修	NPO法人 さわおとの森
11月14日	五団体研修 事例検討会	気仙沼市マザーズホーム オンライン
11月18日	救急救命 事例検討会	気仙沼市マザーズホーム
11月19日	ペアレントプログラム講師及び実施者養成研修	NPO法人 さわおとの森
11月19日	愛着障害・不適切な養育について	気仙沼市マザーズホーム オンライン
12月3日	ペアレントプログラム講師及び実施者養成研修	NPO法人 さわおとの森
12月14日	第5回 特別支援教育推進委員会	気仙沼市中央公民館
12月23日	障害者計画推進委員会	ワンテン
令和3年2月1日	ペアレントプログラム アドバンスワークショップ	宮城県啓佑学園
2月22日	幼保・小・中・高の円滑な接続と適切な支援に向けて	気仙沼市マザーズホーム オンライン
2月24日	発達障害児早期支援研修	宮城県子ども総合センター
2月24日～26日	自閉症スペクトラム支援者専門研修会	気仙沼市マザーズホーム オンライン
3月23日	障害者計画推進委員会	ワンテン
3月24日	宮城県障害児等療育支援事業打ち合わせ	気仙沼市マザーズホーム オンライン

【成果】児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業とも、ほぼ同じ在籍人数で推移していま

【成果】児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業とも、ほぼ同じ在籍人数で推移しています。今年度は一日の利用者が増え収入の増になっています。気仙沼市における乳幼児健診後のフォローアップの会（遊びの会）の参加や関係者連携会議の開催を定期的に行うことで、関係機関との繋がりが深まり児童発達支援事業や放課後等デイサービス事業の利用、昨年度より行っている保育所等訪問支援事業、宮城県障害児等療育支援事業の利用にも繋がりました。専門職と一緒に事例検討会を10回行い、職員のスキルアップを図りました。また、保護者勉強会を月2回実施し、保護者支援に努めました。

【課題】児童発達支援事業での利用形態が様々で、途中入所のお子さんも多く、活動内容の工夫等、適切な支援を行うためにも、より一層職員の資質の向上を図ることが求められています。また、就労している家族が多く、お預かりでの利用希望者も増え職員の負担も増えています。放課後等デイサービス事業でも、受け入れ学年の幅を中学生まで延ばしたことで個々に合った対応が求められています。年齢の幅が広がり、送迎の回数も増え、支援車両も近隣施設から借用して対応しています。各事業所で職員体制を整備してきましたが、利用人数の増加に伴う業務量の増に対応するため、職員の体制整備が必要です。

【今後の取組】関係機関との連携も構築され、施設に求められるニーズも多様化しています。「ペアレント・プログラム」の実施やVineland-IIの発達検査などアセスメントツールを実施し新しい保護者支援に取り組み、家族に寄り添った療育に柔軟に取り組んでいきます。

【決算】事業活動による収入 50,879,916円
その他の活動による収入 987,920円
(基金より繰入340,000円含む。)

事業活動による支出 37,079,930円
その他の活動による支出 8,987,000円
(基金への繰出8,000,000円含む。)
当期資金収支差額 5,800,906円

(4) 指定特定相談支援事業（松峰園相談支援センター）

【概要】障害者総合支援法に基づき、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の心身の状況に応じて、適切な福祉サービスが総合的かつ効果的に提供されるよう指定計画相談支援をしました。

【事業実績】

月	計画作成者数	モニタリング
4	0	3
5	1	6
6	14	7
7	0	6
8	0	4
9	0	22
10	0	4
11	1	6
12	0	11
1	1	5
2	0	4
3	5	18
計	22	96

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和2年6月30日	気仙沼管内介護保険施設等感染症対策研修	本吉町はまなすホール
9月18日	相談支援連絡会	気仙沼市市民福祉センター
11月20日	相談支援連絡会	気仙沼市市民福祉センター
12月9日	第1回相談支援専門員研修会	ワnten庁舎
令和3年1月9日	第2回相談支援専門員研修会	宮城県合同庁舎

【成果】気仙沼市から依頼を受け49件の計画、モニタリングを行い適切なサービス提供に結びつけ、市や他の事業所と連絡調整により連携機能を高めました。

（令和2年度障害福祉サービス等事業収入目標達成度115.8% 前年度134.3%）

【課題】利用者本人、家族の高齢化に伴い、サービス利用についての理解や進め方に助言が必要となっています。

【今後の取組】介護保険サービスや入所施設等への移行がスムーズに対応できるよう、基幹相談支援センターとの連携を強化していきます。

【決算】

事業活動による収入 1,825,420円

事業活動による支出 1,013,289円

当期資金収支差額 812,131円

(5) 指定共同生活援助事業（グループホーム「つばさ」）

【概要】障害者総合支援法に基づき、利用者の自立と社会経済活動への参加を促進するため、地域で共同して日常生活を円滑に営むことができるよう、利用者の心身の状況に応じて、日常生活の援助を適切に行いました。

【事業実績】

月	在籍者数	開 所 日 数	当月入所者数	当月退所者数	利用延人数	平均利用者数
4	4	22	0	0	88	4.0
5	4	19	0	0	76	4.0
6	4	22	0	0	88	4.0
7	4	22	0	0	87	4.0
8	4	20	0	0	80	4.0
9	4	21	0	0	84	4.0
10	4	23	0	0	92	4.0
11	4	21	0	0	84	4.0
12	4	20	0	0	80	4.0
1	4	20	0	0	80	4.0
2	4	20	0	0	80	4.0
3	4	23	0	0	92	4.0
計	48	253	0	0	1,011	4.0

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和2年4月9日	通院支援	市内
5月1日, 8日	通院支援	市内
5月30日	避難訓練・余暇活動支援	市内
6月24日	通院支援	市内
6月26日	通院支援	市内
6月30日	気仙沼管内介護保険施設等感染症対策研修	本吉町はまなすホール
7月27日	がん検診受診支援	市内
8月4日	通院支援	市内
9月4日	世話人研修会	松峰園
9月16日	障害者施設実地指導	つばさ
11月3日	避難訓練・余暇活動支援	つばさ
12月18日, 22日, 24日	通院支援	市内
令和3年1月14日, 15日	通院支援	市内
2月15日, 24日	通院支援	市内
3月5日	世話人研修会	松峰園

【成果】新型コロナウイルス対策として手洗いや消毒のほか、食堂に間仕切りを設置する等の対応を図り、感染予防に努めました。

（令和2年度障害福祉サービス等事業収入目標達成度85.2% 前年度101.8%）

【課題】築年数の経過に伴い、修繕箇所が立て続けに出てきており、貸主からも立ち退きの話が出ており、対応を求められています。

【今後の取組】新型コロナウイルスの感染予防に努めながら、余暇支援や通院支援等を行い、利用者の希望に沿った支援を行います。

事業活動による収入 5,386,363円

事業活動による支出 5,160,971円

当期資金収支差額 225,392円

9. 居宅介護等事業

【概要】障害者総合支援法に基づき、障害をもった方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、関係機関との連携を密にし、心身の特性を踏まえたきめ細やかな居宅介護計画によるサービス提供に努めました。

(1) 気仙沼市ホームヘルプサービス事業所

【事業実績】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
利用	人	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84	83
回	49	62	72	66	71	70	72	59	68	72	63	65	789	768

【成果】障害を持った利用者が、その有する能力に応じ自立した日常生活を営めることができるよう、利用者の心身の特性を踏まえたきめ細やかな居宅介護計画を策定し、適正なサービスの提供に努めました。

(介護報酬目標額達成率 99.0% 前年度 128.9%)

【課題】職員体制に余裕がないことと。新型コロナウイルス感染症の影響で資質向上に関する外部研修が受講できない状況にあります。

【今後の取組】利用者の獲得と人材確保に鋭意努力し、事業所の安定経営に努めます。

【決算】事業活動収入 4,033,800 円 事業活動支出 2,703,737 円 当期資金収支差額 1,330,063 円
(運用基金積立金への繰出含む)

(2) 訪問介護ステーションからくわ

【事業実績】

居宅介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
人	5	5	5	6	6	6	7	6	7	6	6	7	72	60
回	19	20	21	19	17	18	33	36	38	35	29	40	325	230

同行援護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
人	5	4	3	5	3	4	5	5	3	3	4	4	48	56
回	24	29	25	25	22	23	27	25	21	22	22	27	292	317

【成果】支援計画に基づき、利用者及び家族の意向に沿ったサービス提供ができました。居宅介護の新規利用者、同行援護の利用再開もあり、今後の事業の展開に繋がりました。

(介護報酬目標額達成率・居宅介護 192% 前年度 62%)

(介護報酬目標額達成率・同行援護 80.6% 前年度 98%)

【課題】利用者の精神状態や体調不良で中止になることが多く、サービスに繋がらない場合があります。

【今後の取組】各関係機関と密に連携を図り、利用者の自立と社会参加を支援していきます。また、スタッフ一丸となり、新型コロナウイルスの感染予防対策に取り組んでまいります。

【決算】事業活動収入 3,904,060 円（居宅介護・1,947,300 円、同行援護・1,956,760 円）
 事業活動支出 3,486,475 円（居宅介護・1,805,475 円、同行援護・1,681,000 円）
 当期資金収支差額 417,585 円（居宅介護・141,825 円、同行援護・275,760 円）

（３）ヘルパーステーションもとよし

居宅介護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
人	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	39	44
回	43	38	44	45	42	37	35	35	42	39	36	36	472	1,416

同行援護

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
人	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2	2	3	28	8
回	35	34	34	36	35	35	38	34	37	35	30	37	420	108

【成果】障害を持った方の心身の特性と能力を踏まえた自立生活支援に努めました。関係機関との連携を密にし、ご本人や家族の不安を軽減する為の助言やサービスを提供しました。今後も総合的に支援できる体制づくりに力を入れていきます。

（介護報酬目標額達成率・居宅介護 45.0% 前年度 54.0%）

（介護報酬目標額達成率・同行援護 106.9%）

【課題】職員の平均年齢の上昇に伴い、若手を含むヘルパー育成を含めた提供体制の再構築が課題となっています。また、利用者のほとんどが独居世帯であり、地域や支援センターなどの関係機関との連携が不可欠です。

【今後の取組】住み慣れた地域で安心して生活できるように、一人ひとりのニーズに合わせた迅速かつ丁寧な質の高いサービス提供が図れるように、関係機関との連携を密にし、職員間の意思疎通を徹底して体制の構築に努めます。

【決算】事業活動収入 3,982,080 円（居宅介護・1,633,670 円、同行援護・2,348,410 円）
 事業活動支出 3,916,000 円（居宅介護・1,630,000 円、同行援護・2,286,000 円）
 当期資金収支差額 66,080 円（居宅介護・3,670 円、同行援護・62,410 円）

10. 地域生活支援事業

【概要】障害者総合支援法に基づく気仙沼市障害者地域生活支援事業実施規則に則り、重度の障害をもつ方への移動入浴車による入浴サービスを提供しました。

(1) 訪問入浴サービスもとよし

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
人	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13	12
回	8	9	9	7	9	8	9	9	8	8	8	9	101	100

【成果】唐桑地区の継続利用の方に加え、数回利用で逝去された独居の方との関りがありましたが、他機関との連携を密にしたサービス提供により望まれていた在宅で終末期を過ごすことができました。

(介護報酬目標額達成率 103.6% 前年度 47.9%)

【課題】現在の利用者は1名ですが、提供体制を整備して、周知を徹底しながら必要な方への支援を行います。

【今後の取組】利用者や家族とのコミュニケーションを大切にし、他職種との連携を密にしながら、チームケアに取り組みます。また、障害に関する各研修会等に積極的に参加し、職員の資質向上に努めます。

【決算】事業活動収入 1,262,600 円 事業活動支出 1,234,000 円 当期資金収支差額 28,600 円

11. 在宅福祉事業

事業名	内容
移送サービス事業	【概要】 家庭外への移動困難者について、リフト付ワゴン車の運行による移送や車両貸出を行うことで、社会生活への参加促進を図りました。 【実績】 移送利用：0件 貸出利用：15件 【成果】 通院や転院のためのレンタル利用が多く、中には定期的に利用される方もいます。 【課題】 移送利用がなく、運転ボランティアの必要はなかったものの、移送利用の対応ができるよう人材の確保が必要です。 【今後の取組】 当面は貸出利用を中心としながら、社協だより等で事業を周知するとともに運転ボランティアの養成を検討します。 【決算】 99,468 円
在宅ふれあい型交流事業	【概要】 虚弱な一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯との交流を対象にふれあい型の食事サービス・お茶のみ会等へ補助金を交付しました。地域や季節によって、配食と会食の形態があります。 【実績】 申請団体：7団体 利用者延べ：945人 【成果】 上半期は、新型コロナウイルス感染症の影響により活動実施に至らない団体もありましたが、手作りを仕出し弁当に変更したりするなど各団体それぞれ工夫をしながら実施しました。配食を通してボランティア団体と地域高齢者等が交流する機会の一助となっています。 【課題】 コロナ禍のほか、会員の高齢化に伴い活動中止となった団体があったため、活動回数、活動団体が減少傾向にあります。 【今後の取組】 ボランティア団体等が集う機会を捉え、事業の周知を行いながら、新型コロナウイルス感染症予防対策の周知や新しい生活様式を取り入れた事業実施方法の提案に努めます。 【決算】 296,264 円
安否確認訪問サービス事業	【概要】 大船渡ヤクルト販売㈱さんらいずセンターの協力を得て、常に見守りを必要とする世帯に対し、乳酸菌飲料の週3回（月・水・金）配達を通じての声掛け訪問による安否確認を実施しました。 【実績】 利用者：17人 利用延本数：1,595本 【成果】 緊急対応となるケースはありませんでした。 【課題】 利用者不在時の対応や社協への連絡については、業者内での統一が難しい状況が続いていますが、以前よりもタイムラグなく行われています。 【今後の取組】 業者との連絡を密に取り合い、事業の理解促進に努めます。また、社協だよりやホームページ、民生委員定例会にて定期的なサービスの周知を図ります。 【決算】 48,692 円
介護機器・福祉用具貸出事業	【概要】 所有する福祉用具の貸出により、要介護にある方の在宅生活を支援するとともに、ボランティア活動や福祉教育活動の積極的な企画や

	参加を促進しました。 【概要】所有する福祉用具の貸出により、要介護にある方の在宅生活を支援するとともに、ボランティア活動や福祉教育活動の積極的な企画や参加を促進しました。 【実績】 延べ貸出数 気仙沼 車いす18台 ベッド 0台 本吉 車いす20台 ベッド 2台 【成果】小・中学校で行なわれる福祉教育活動に活用されたほか、個人への貸し出しにより、在宅生活の一助となりました。 【課題】貸出用具として介護用電動・手動ベッド、ベッドマッドレスとありますが、本吉支所以外は東日本大震災で物品の一切を流失しており、車椅子以外の上記物品については、現在は貸し出せる状態にありません。 【今後の取組】今後も継続しながら、事業内容の見直しを行います。 【決算額】1,505 円
--	--

12. 指定介護保険事業

(1) 一景島在宅介護支援センター

【概要】利用者が、その人らしく安心した日常生活を維持できるよう、常に利用者の立場に立ち一連のケアマネジメントプロセスに基づいたサービス提供に努めました。また、主任介護支援専門員配置等による加算取得に当っては、管理者を中心とし法令遵守の相互チェック体制により介護報酬の適正な請求に努めました。

【事業実績】

月	事業対象者	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計	
4	人	1	13	23	37	36	35	19	22	8	120	157
5	人	1	14	23	38	37	28	20	18	7	110	148
6	人	1	14	22	37	39	27	19	21	9	115	152
7	人	1	13	23	37	38	30	19	18	9	114	151
8	人	1	12	22	35	42	31	19	18	6	116	151
9	人	1	10	22	33	41	34	18	17	6	116	149
10	人	1	10	22	33	41	35	18	18	6	118	151
11	人	1	10	23	34	39	35	18	18	6	116	150
12	人	1	10	23	34	37	35	18	18	6	114	148
1	人	1	11	23	35	36	35	15	18	6	110	145
2	人	1	11	21	33	35	34	14	17	5	105	138
3	人	1	11	20	32	34	33	14	15	5	101	133
計	人	12	139	267	418	455	392	211	218	79	1,355	1,773
前年度	人	0	68	174	242	175	118	88	121	61	563	805

【研修・会議等参加状況】

月 日	主 な 会 議 ・ 研 修 会 等	開 催 場 所
令和2年7月7日	気仙沼管内介護保険施設等サービス従事者向け感染対策研修会	はまなすホール
10月20日	令和2年度保健医療福祉等の支援者向け研修会「精神疾患を学ぶ」	気仙沼保健福祉事務所
11月9日	令和2年度ケアマネジャー多職種連携支援体制強化事業ワカイン研修会	ワンテン庁舎
12月25日	令和2年度松岩・新月地域介護支援専門員研修会	松岩公民館
令和3年1月15日	居宅介護支援事業所共同事例検討会Zoomを活用したWeb研修会	気仙沼市社協
2月1日	個人防護具の着脱に関する研修会	ワンテン庁舎
2月5日	新型コロナウイルス感染症に関する研修会	市民福祉センター やすらぎ
2月12日	宮城県ケアマネジャー協会気仙沼支部Zoom研修会	気仙沼市社協
その他	※定期的（毎月）に全職員による内部研修会を開催	

【成果】年々高齢者を取り巻く環境が変化し、ケアマネジメントが難しいケースに対しては、関係機関やサービス事業者との連携・連絡を密に図りながら、より丁寧な対応に努めました。

（令和2年度 介護報酬目標達成度（当初予算対比）：83.8% 前年度：94.2%）

【課題】要支援・要介護認定利用者が共に減少する傾向が継続している状況で、介護報酬の減収に影響しています。

【今後の取組】制度改正のたびに益々複雑化する基準に対応できるよう、職員一人ひとりの資質向上に努めます。

また、事業所職員全体で積極的に集客のための周知活動を行い、新規利用者の確保やサービス利用に結びつくケアプランの作成を行い、増収に努めます。

【決算】 事業活動収入 26,244,000 円

事業活動支出 21,671,512 円

その他の活動支出 2,100,952 円

（運用基金積立金への繰出1,000,000円含む）

当期資金収支差額 2,471,536 円

(2) 津谷居宅介護支援事業所

【概要】利用者の立場に立ち、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、生活全体を支える自立支援に向けたケアマネジメントの視点を常に意識し、関係機関と連携しながらサービス提供に努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	7	28	35	35	30	22	17	11	115	150
5	人	7	25	32	37	24	19	17	14	111	143
6	人	7	29	36	36	34	18	18	13	119	155
7	人	7	28	35	36	29	23	16	12	116	151
8	人	6	26	32	39	28	22	17	12	118	150
9	人	8	27	35	41	24	26	14	12	117	152
10	人	8	30	38	41	22	22	17	13	115	153
11	人	7	29	36	40	18	21	18	10	107	143
12	人	9	29	38	41	19	22	18	9	109	147
1	人	9	27	36	43	18	19	14	11	105	141
2	人	8	25	33	45	18	23	16	13	115	148
3	人	9	26	35	42	21	22	16	9	110	145
計	人	92	329	421	476	285	259	198	139	1,357	1,778
前年度	人	91	355	446	458	336	247	260	105	1,406	1,852

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和2年6月30日	気仙沼管内介護保険施設等管理者向け感染対策研修	はまなすホール
7月7日	気仙沼管内介護保険施設等サービス従事者向け感染対策研修	はまなすホール
11月9日	ケアマネ多職種連携体制強化事業	ワンテン庁舎大ホール
12月3日	相談技法研修会	いこい
令和3年2月1日	個人防護具の着脱に関する研修会	地域交流センター大ホール
2月5日	新型コロナウイルス感染症に関する研修会	市民福祉センターやすらぎ
2月12日	ケアマネ協会気仙沼支部リモート研修会	津谷居宅介護支援事業所内
2月18日	居宅介護事業所向けオンライン交流会	津谷居宅介護支援事業所内
2月18日	職員スキルアップ研修会	津谷居宅介護支援事業所内
3月16日	ケアマネ協会気仙沼支部リモート研修会	津谷居宅介護支援事業所内
毎月1回	ケアマネ定例会議	いこい
毎月1回	本吉支所定例会議	本吉支所
毎月1回	職員会議	津谷居宅支援事業所
毎週1回	事例検討会議、伝達研修	津谷居宅支援事業所

【成果】昨年度より常勤4名の職員体制となっています。要介護3以上の利用者の割合が毎月4.2パーセント程度となっており、居宅支援費に反映されています。60歳代の癌末期の方が増えており「今が家に帰ることができる最後の機会」と退院し、早急に介護サービスが必要となり支援しました。本人や家族からは「家に来ることができて良かった」との言葉をいただきましたが、短期間での利用で関わりが無くなってしまいました。

(令和2年度 介護報酬目標達成度(当初予算対比) 96.7% 前年度91.9%)

【課題】老々介護や認知症で独居の方、また、癌末期など早急に在宅サービスが必要な方等、様々な環境を踏まえた上での支援が必要となっています。この1年は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為に自宅からの外出を控えなくてはならなくなり、近隣との行き来や遠方からの家族や支援者などの来訪者も少なくなっているため、他者との関わりがかなり減少した人も多く見受けられ、認知機能や筋力の低下が懸念されます。通所サービスが同じ日の利用者が感染症の陽性反応者の為、サービス調整に苦慮したことがありました。

【今後の取組】自分達の感染対策をしっかりと行っていきます。また、4月からの法改正により今まで以上に利用者の為の細かい具体的なケアプランの作成を行うことが示されており、それに向けて取り組んでいきます。3年度には主任介護支援専門員更新研修の受講者もいるので、さらにケアマネとしての資質の向上に努めます。3月に活動車両1台を減にしましたが、業務に支障がないよう計画的な配車により、経費削減に努めていきます。

【決算】事業活動収入	26,106,590円	事業活動支出	19,142,626円
施設整備等収入	138,270円	施設整備等支出	138,270円
		その他の活動による支出	7,449,180円
		(運用基金積立金への操出し6,000,000円含む)	
		当期資金収支差額	-485,216円
		(前期末支払資金残高から充当)	

(3) 気仙沼市ホームヘルプサービス事業所

【概要】要介護又は要支援にある利用者が、住み慣れた地域や自宅で、自分らしく安心して生活できるように、適切な訪問介護計画を策定し、利用者やその家族等からの評価によるサービスの見直しを図ることで、よりきめ細やかなサービス提供に努めました。

【事業実績】

月		対象者	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	1	4	9	14	3	3	2	7	1	16	30
	回	2	32	65	99	26	19	52	142	17	256	355
5	人	1	4	9	14	3	3	2	6	1	15	29
	回	3	32	70	105	23	50	53	77	32	235	340
6	人	1	4	9	14	3	4	2	6	1	16	30
	回	4	29	70	103	28	52	50	100	32	262	365
7	人	1	3	9	13	4	5	2	5	1	17	30
	回	2	27	72	101	44	57	54	65	29	249	350
8	人	1	3	9	13	6	3	2	6	1	18	31
	回	4	26	69	99	91	21	52	113	32	309	408
9	人	1	3	9	13	4	4	2	5	1	16	29
	回	4	24	66	94	33	54	51	99	27	264	358
10	人	0	3	8	11	4	3	3	6	0	16	27
	回	0	27	66	93	37	52	59	96	0	244	337
11	人	0	3	8	11	3	5	3	8	1	20	31
	回	0	22	55	77	22	60	80	190	6	358	435
12	人	0	3	8	11	4	3	3	7	1	18	29
	回	0	23	63	86	36	54	67	175	46	378	464
1	人	0	3	8	11	4	5	3	7	1	20	31
	回	0	26	58	84	34	83	40	182	62	401	485
2	人	0	3	8	11	5	4	3	6	0	18	29
	回	0	24	55	79	36	74	46	163	0	319	398
3	人	0	3	10	13	5	6	3	5	1	20	33
	回	0	26	80	106	40	99	45	89	4	277	383
計	人	6	39	104	149	48	48	30	74	10	210	359
	回	19	318	789	1,126	450	675	649	1,491	287	3,552	4,678
前年度	人	22	45	129	196	43	18	20	47	12	140	336
	回	123	369	1,068	1,560	286	110	429	1,319	341	2,485	4,045

【研修・会議等参加状況】

月 日	主 な 会 議 ・ 研 修 会 等	開 催 場 所
令和2年7月7日	気仙沼管内介護保険施設等サービス従事者向け感染対策研修会	はまなすホール
10月20日	令和2年度保健医療福祉等の支援者向け研修会「精神疾患を学ぶ」	気仙沼保健福祉事務所
令和3年1月29日	個人防護具の着脱に関する研修会	ワンテン庁舎
2月5日	新型コロナウイルス感染症に関する研修会	市民福祉センター やすらぎ
その他	※定期的に（毎月）に全職員による内部研修会を開催	

【成果】高齢化に加え認知症の進行、独居又は夫婦のみ世帯の利用者へのサービス提供や困難ケースが増えてきましたが、担当介護支援専門員や関係機関とも緊密な連携により、安心して在宅生活を送ることができるよう継続したサービス提供に努めました。

（令和2年度 介護報酬目標達成度（当初予算対比）：102.8% 前年度：91.0%）

【課題】前年度と比較し要支援認定利用者の割合が減少し、要介護者が増加していますが、重度化により利用期間も短くなる傾向から増収には中々結びつかない状況です。

【今後の取組】更なる職員の資質向上を図り、利用者が安心して在宅生活を送れるようサービスの提供に努めます。また、新規利用者の確保に向け引き続き集客に努め増収となるよう鋭意努力してまいります。

【決算】事業活動収入	22,083,668 円	事業活動支出	21,055,651 円
施設整備等収入	138,270 円	施設整備等支出	138,270 円
		その他の活動支出	775,760 円
		（運用基金積立金への繰出500,000円含む）	
		当期資金収支差額	252,257 円

(4) 訪問介護ステーションからくわ

【概要】利用者の意思及び人格を尊重し、常に相手の立場に立ち、質の高いサービスを提供するように努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	事業対象者	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	3	7	1	11	2	4	4	4	1	15	26
	回	11	49	2	62	14	81	152	120	60	427	489
5	人	2	6	1	9	3	3	5	6	0	17	26
	回	33	46	4	83	18	76	189	174	0	457	540
6	人	1	6	1	8	6	3	5	8	0	22	30
	回	4	46	3	53	48	72	185	283	0	588	641
7	人	2	6	1	9	6	5	5	7	1	24	33
	回	10	52	3	65	53	73	181	211	30	548	613
8	人	2	5	1	8	6	6	5	7	0	24	32
	回	9	41	3	53	50	110	181	190	0	531	584
9	人	2	6	1	9	7	5	5	7	0	24	33
	回	8	44	3	55	51	73	170	187	0	481	536
10	人	2	6	1	9	7	5	5	7	1	25	34
	回	8	49	3	60	50	79	181	155	4	469	529
11	人	3	6	1	10	6	7	5	7	1	26	36
	回	9	46	3	58	38	109	175	127	9	458	516
12	人	3	6	1	10	7	7	6	7	1	28	38
	回	12	50	4	66	45	107	184	155	10	501	567
1	人	3	7	0	10	7	7	4	7	1	25	36
	回	11	50	0	61	40	110	148	177	4	479	540
2	人	3	7	1	11	6	7	4	7	1	25	36
	回	9	54	4	67	36	100	94	153	4	387	454
3	人	3	7	1	11	6	7	4	8	3	28	39
	回	13	55	4	72	37	101	104	167	90	499	571
計	人	29	75	11	115	69	66	57	82	10	284	399
	回	137	582	36	755	480	1,091	1,944	2,099	211	5,825	6,580
前年度	人	23	67	12	102	21	57	21	70	50	219	321
	回	86	586	47	719	256	993	829	2,517	1,347	5,942	6,661

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和2年7月7日	感染対策研修 スタッフ会議（月1回）支所管理者会議（月1回）	気仙沼保健福祉事務所 社協唐桑支所

【成果】要介護の活動件数が増え、実績増に繋がりました。今年度は新型コロナウイルスにより、例年どおりの研修が開催されませんでしたが、事業所研修で個々に取り組み、スキルアップを図りました。

【課題】新型コロナウイルス感染症の不安から一時的にサービスを中断した利用者がいました。在宅での介護負担が大きく、施設入所や他のサービス利用が増加傾向にあり、安定した利用者確保が難しい状況にあります。

【今後の取組】家族の精神的、身体的負担の軽減を図り、より良いサービス提供に努めます。また、新型コロナウイルス感染対策にも徹底して取り組みます。

【決算】事業活動収入	24,197,432円	事業活動支出	17,518,773円
		その他の活動による支出	3,940,104円
		（運用基金事業への繰出3,600,000円含）	
		当期資金収支差額	2,738,555円

(5) ヘルパーステーションもとよし

【概要】住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、利用者一人ひとりのニーズに応じた個別ケア計画に基づき、関係機関との連携の下、きめ細やかなサービス提供に努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	3	9	12	11	7	3	11	5	37	49
	回	16	54	70	62	117	65	337	83	664	734
5	人	3	8	11	10	8	3	12	6	39	50
	回	17	51	68	56	135	73	308	102	674	742
6	人	3	8	11	10	9	2	14	4	39	50
	回	18	49	67	55	135	51	407	60	708	775
7	人	3	7	10	10	9	3	11	5	38	48
	回	14	44	58	64	130	16	322	89	621	679
8	人	3	7	10	10	9	1	11	5	36	46
	回	15	39	54	58	127	8	378	87	658	712
9	人	3	6	9	10	8	1	11	5	35	44
	回	17	33	50	67	116	3	363	100	649	699
10	人	3	9	12	10	8	1	12	5	36	48
	回	16	57	73	62	128	10	385	134	719	792
11	人	4	8	12	11	8	1	10	5	35	47
	回	17	48	65	68	127	14	299	124	632	697
12	人	5	9	14	11	8	2	9	7	37	51
	回	28	53	81	86	109	19	267	143	624	705
1	人	4	9	13	14	5	2	9	6	36	49
	回	23	56	79	121	79	21	259	125	605	684
2	人	2	8	10	16	7	3	10	6	42	52
	回	5	48	53	139	91	31	289	149	699	752
3	人	2	8	10	18	8	3	10	6	45	55
	回	10	55	65	176	122	36	287	157	778	843
計	人	38	96	134	141	94	25	132	65	455	589
	回	196	587	783	1,014	1,416	347	3,909	1,353	8,031	8,814
前年度	人	42	99	141	130	87	38	138	83	476	617
	回	175	603	778	879	1,342	757	3,670	1,758	8,406	9,184

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和2年 5月27日	「接遇」介護スタッフが身につけておくべき5つの接遇マナー	(内部研修) ヘルパーステーション
6月30日	介護保険施設等における感染症のリスクマネジメント	はまなすホール
7月 7日	感染症リスクマネジメント対策について	はまなすホール
8月26日	プライバシーの保護について	(内部研修) ヘルパーステーション
9月23日	緊急時の対応について	(内部研修) ヘルパーステーション
10月13日	精神疾患を学ぶ(保健・医療・福祉等の支援者向け)	気仙沼保健福祉事務所
12月3日	相談技法研修会	いこい多目的ホール
令和3年 1月28日	事故の原因と対策を考えよう	(内部研修) ヘルパーステーション
1月29日	個人防護服の着脱に関する研修会	ワンテンビル
2月5日	新型コロナウイルス感染症に関する研修会	やすらぎ
2月18日	アンガーマネジメント	(オンライン研修) ヘルパーステーション
	事業所内会議：ヘルパー会議、伝達研修(訪問介護合同で毎月開催)	

【成果】新規利用の希望を受ける際には、安心・安全で確かな知識と質の高い介護技術を提供するため、同行の機会を増やし、より一層の情報共有を図りサービス提供に心掛けました。また、新規利用者受入時には、ケアマネジャーと連携を取りながら、要望に沿ったサービス提供をする事ができました。さらには、唐桑訪問入浴事業への介護員派遣も必要に応じて連携を取りながら対応しました。

(令和2年度 介護報酬目標達成度(当初予算対比) 94.5% 前年度109.3%)

【課題】職員の平均年齢の上昇に伴い、体調維持と若手育成に向けた人材確保が課題です。今年度は、介護福祉士保持者が2名退職したことにより、職員調整に苦慮しました。今後も事業所加算継続のためには、介護福祉士等の有資格者を要するため、資格取得に向けた研修へ積極的に参加できるような体制を整えていく必要があります。

【今後の取組】今後もニーズに合わせたサービス提供ができるように、確かな知識と質の高い介護技術を提供できるように、研修会に積極的に参加し、情報共有を密にしたチームケアができるよう全職員で連携を図りながら取り組んでまいります。

【決算】事業活動収入 41,215,359円
 施設整備等による収入 138,270円
 その他の活動による収入 15,726,209円

事業活動支出 51,376,578円
 施設整備等による支出 138,270円
 その他の活動による支出 777,482円
 当期資金収支差額 4,787,508円

(6) 訪問入浴サービスもとよし

【概要】住み慣れた地域で安心して生活できるよう、利用者や家族の意向を尊重し、関係機関と連携して、利用者が満足できるよう適切なサービス提供に努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	0	2	2	0	4	4	10	9	27	29
	回	0	9	9	0	15	18	53	51	137	146
5	人	0	2	2	0	4	3	11	11	29	31
	回	0	9	9	0	11	13	50	58	132	141
6	人	0	2	2	1	3	3	11	9	27	29
	回	0	9	9	1	7	18	52	54	132	141
7	人	0	2	2	0	4	3	9	9	25	27
	回	0	9	9	0	18	15	41	61	135	144
8	人	0	2	2	0	3	4	9	9	25	27
	回	0	8	8	0	12	16	38	59	125	133
9	人	0	2	2	0	2	4	9	9	24	26
	回	0	9	9	0	12	13	44	61	130	139
10	人	0	2	2	0	2	3	9	8	22	24
	回	0	9	9	0	10	12	34	52	108	117
11	人	0	2	2	0	1	3	8	9	21	23
	回	0	8	8	0	8	13	37	49	107	115
12	人	0	2	2	0	2	3	7	9	21	23
	回	0	9	9	0	13	13	28	55	109	118
1	人	0	2	2	1	2	3	5	9	20	22
	回	0	8	8	1	12	12	21	41	87	95
2	人	0	2	2	1	3	4	7	8	23	25
	回	0	8	8	4	13	13	30	50	110	118
3	人	0	2	2	1	4	4	8	8	25	19
	回	0	9	9	4	17	20	36	49	126	135
計	人	0	12	24	4	34	41	103	107	289	313
	回	0	53	104	10	148	176	464	640	1,438	1,542
前年度	人	0	0	0	0	8	5	109	99	221	221
	回	0	0	0	0	21	17	471	624	1,133	1,133

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和2年 5月27日	内部研修：「接遇」介護スタッフが身につけておくべき5つの接遇マナー	ヘルパーステーション
6月30日	介護保険施設等における感染症のリスクマネジメント	はまなすホール
7月 7日	感染症リスクマネジメント対策について	はまなすホール
8月26日	内部研修：プライバシーの保護について	ヘルパーステーション
9月23日	内部研修：緊急時の対応について	ヘルパーステーション
10月13日	精神疾患を学ぶ(保健・医療・福祉等の支援者向け)	気仙沼保健福祉事務所
12月3日	相談技法研修会	いこい多目的ホール
令和3年1月28日	内部研修：事故の原因と対策を考えよう	ヘルパーステーション
1月29日	個人防護服の着脱に関する研修会	ワンテンビル
2月5日	新型コロナウイルス感染症に関する研修会	やすらぎ
2月18日	オンライン研修：アンガーマネジメント	ヘルパーステーション
	事業所内会議：ヘルパー会議、伝達研修(訪問介護合同で毎月開催)	

【成果】唐桑訪問入浴事業所との統合で9名のご利用者を引き継いだことや、本吉分入浴車2台の活用で、新規の方の希望時間に迅速に対応ができたこともあり、前年度に比べ増加しました。また他事業所、特に医療との連携を密にし、医療依存度の高い方や終末期の方にも安心してご利用いただきました。利用者や家族とコミュニケーションを図りながら、入浴時間を楽しんで頂けるよう努めました。

(令和2年度 介護報酬目標達成度(当初予算対比) 95.5% 前年度123.4%)

【課題】4月の統合にて職員のやりくり等大変な1年でしたが、職員の力で支障なく稼働できました。唐桑地区の新規受入は、体制の問題から3名のみとなり、引き続き難しい状況です。また、職員の年齢上昇に伴う体調変化の懸念もあり、どの職種においても若年層の人材確保が必要です。

【今後の取組】毎年冬期間の稼働率が減少してしまいます。随時、各居宅介護支援事業所や病院をはじめ、地域の薬局などへの周知活動の継続とともに、一時的な利用でも可能なこと等を伝え、利用者確保に努めます。また、各職員の知識や接遇介護技術の向上を図れるよう研修等活用し、チームとして対応して、働きやすく魅力ある職場づくりに努めます。

【決算】事業活動収入 23,102,276円 事業活動支出 20,440,283円
 その他の活動による支出 2,068,900円
 (運用基金積立金への操出し1,000,000円含む)
 当期資金収支差額 593,093円

(7) 燦さん館デイサービスセンター

【概要】要介護者・要支援者に対し尊厳ある自立支援と、家族の精神的・身体的負担の軽減に努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	7	20	27	25	16	14	13	0	68	95
	回	32	124	156	251	137	88	101	0	577	733
5	人	7	19	26	26	12	13	14	1	66	92
	回	36	131	167	257	106	105	93	3	564	731
6	人	8	20	28	26	12	13	14	1	66	94
	回	37	138	175	254	109	113	126	9	611	786
7	人	8	20	28	25	13	13	13	1	65	93
	回	41	134	175	273	126	113	119	10	641	816
8	人	8	18	26	28	16	13	13	1	71	97
	回	35	127	162	258	136	103	95	10	602	764
9	人	7	19	26	28	20	12	12	1	73	99
	回	34	131	165	266	170	107	111	7	661	826
10	人	7	18	25	29	19	11	12	1	72	97
	回	38	129	167	287	171	99	121	9	687	854
11	人	8	19	27	29	19	11	12	2	73	100
	回	36	130	166	239	170	88	102	12	611	777
12	人	8	20	28	26	19	11	12	2	70	98
	回	42	137	179	223	170	94	113	16	616	795
1	人	9	18	27	24	19	10	12	2	67	94
	回	40	114	154	196	160	74	102	14	546	700
2	人	8	18	26	24	18	10	12	2	66	92
	回	39	122	161	195	165	85	102	16	563	724
3	人	9	19	28	24	17	9	13	3	66	94
	回	47	139	186	197	158	83	128	26	592	778
計	人	94	228	322	314	200	140	152	17	823	1,145
	回	457	1,556	2,013	2,896	1,778	1,152	1,313	132	7,271	9,284
前年度	人	93	222	315	295	230	164	139	0	828	1,143
	回	412	1,531	1,943	2,606	2,243	1,318	1,102	0	7,269	9,212

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和2年6月30日	気仙沼管内介護保険施設等管理者向け感染対策研修	はまなすの館
7月7日	気仙沼管内介護保険施設等サービス従事者向け感染対策研修	はまなすの館
8月26日	2020年度介護講座 高齢者のかかりやすい病気とその対応	県介護研修センター
10月6日	支援者として死とどう向き合うか クリーフケアの基本を学ぶ	燦さん館センター室
10月13日	令和2年度 保健医療・福祉等の支援者向け「精神心疾患を学ぶ」	県福祉事務所大会議室
10月27日	現場で役立つ感染予防と対策	県介護研修センター
10月30日	気仙沼市唐桑保健福祉センター保健福祉課合同自衛消防避難訓練	市唐桑保健福祉センター
11月25日	令和2年度気仙沼市唐桑町防火管理者協会事業所指定訓練	気仙沼消防署唐桑出張所
随時	職員会議・本所事故防止対策委員会・支所管理者会議	

【成果】急な利用日変更,追加利用にも100%利用可で対応し利用者増に繋がりました。利用者へ利用日と通院日が重なった日は休みにしないで受診後に利用していただくよう声掛けを行った結果利用増となりました。

【課題】訪問入浴との兼務の関係により、デイサービスの送迎等に支障が生じないように職員体制の整備が必要です。

【今後の取組】介護・車輦事故等が発生しないよう職員一人ひとり常に意識を持って業務に取り組めます。また、コスト削減についても職員全員でサービス低下を招かないように経費の削減に努めます。感染症に罹患しないよう予防対策を徹底し、安全に利用していただけるように取り組めます。

【決算】事業活動収入 72,868,650円
施設整備等による収入 26,220円

事業活動支出 69,627,667円
施設整備等支出 1,718,076円
その他の活動支出 2,356,164円
(運用基金事業への繰出300,000円含む)
当期資金収支差額 -807,037円
(前期末支払資金残高から充当)

(8) 気仙沼市福寿荘デイサービスセンター

【概要】通所による各種介護サービスを提供し、生活の助長、心身機能の維持向上と介護者の精神的・身体的負担の軽減に努め、新型コロナが蔓延する状況下、施設内外の衛生管理に気を配り営業を続け、指定管理施設として適正な維持管理に努め、約34年余りの運営の最終年度を締めくくりました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小計	合計
4	人	1	2	3	4	4	4	5	6	23	26
	回	9	11	20	74	77	55	57	79	342	362
5	人	1	2	3	4	5	3	6	6	24	27
	回	8	12	20	81	74	40	70	80	345	365
6	人	1	2	3	4	4	3	6	6	23	26
	回	7	15	22	78	74	43	65	82	342	364
7	人	1	2	3	4	5	3	6	5	23	26
	回	7	14	21	81	71	41	69	87	349	370
8	人	1	2	3	4	5	3	6	6	24	27
	回	7	17	24	61	72	43	81	80	337	361
9	人	1	2	3	3	5	2	6	4	20	23
	回	7	17	24	60	72	29	95	61	317	341
10	人	1	1	2	3	3	4	7	3	20	22
	回	9	9	18	61	73	36	110	65	345	363
11	人	1	1	2	3	3	4	7	3	20	22
	回	9	8	17	58	50	54	107	57	326	343
12	人	1	1	2	3	2	4	6	3	18	20
	回	6	9	15	61	34	54	85	58	292	307
1	人	1	0	1	3	2	4	6	3	18	19
	回	8	0	8	56	36	46	71	45	254	262
2	人	1	0	1	3	2	3	4	2	14	15
	回	5	0	5	55	35	38	49	29	206	211
3	人	1	0	1	3	2	3	1	2	11	12
	回	7	0	7	55	27	37	15	30	164	171
計	人	12	15	27	41	42	40	66	49	238	265
	回	89	112	201	781	695	516	874	753	3,619	3,820
前年度	人	21	29	50	41	57	46	64	80	288	338
	回	164	196	360	695	802	413	758	1,059	3,727	4,087

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和2年4月27日	平成31年度利用状況報告他、車椅子介助含む実技講習	福寿荘デイ（内部研修会）
5月26日	高齢者虐待と身体拘束、大腿骨骨折と身の回りの注意について	福寿荘デイ（内部研修会）
6月24日	新型コロナウイルスと夏場のマスク・熱中症について他	福寿荘デイ（内部研修会）
6月30日	気仙沼管内介護保険施設等管理者向感染症対策研修会	はまなすの館
7月20日	新型コロナウイルス関連勉強会（厚労省動画にて）	福寿荘デイ（内部研修会）
8月11日	令和2年度社協第1回指定管理者会議	本所
8月18日	認知症の種類と症状について	福寿荘デイ（内部研修会）
9月21日	介護職員の倫理・個人情報保護の漏洩、高齢者虐待等	福寿荘デイ（内部研修会）
10月19日	大谷デイ施設見学、新型コロナウイルスとインフルエンザ等の感染症	福寿荘デイ（内部研修会）
11月24日	新型コロナウイルスとインフルエンザ等の感染症（換気方法等）他	福寿荘デイ（内部研修会）
12月23日	現場で使える感染症対策（気保福事務所動画視聴）他	福寿荘デイ（内部研修会）
令和3年1月21日	令和3年度報酬改定概要等、施設閉鎖に伴うスケジュール等	福寿荘デイ（内部研修会）
2月22日	施設閉鎖に伴うスケジュール等、令和2年度補正・資金収支見込について	福寿荘デイ（内部研修会）

※ほぼ毎月に取り、新型コロナウイルスの情報発信を行い、職員一丸となり衛生管理方法を検討し実践に努めました。
※職員会議を定期的に開催し（内部研修を含め）、毎月の利用状況及び施設収支について全職員に伝達しています。

【成果】気仙沼市の方針にて年度末で施設閉鎖となり、利用者・介護者の意向を確認のうえ、担当する各居宅支援事業所と連携を図りながら、全ての利用者が希望する移行先を確保できるよう努めました。要介護度の高い利用者の受入れで何とか運営を行うことができたものの、利用者が順次新

たな移行先へと移っていく状況から、収入の減少は避けられず、前年に引き続き法人内からの資金繰入を受けなければならない運営状況でした。

(令和2年度介護報酬目標達成度(当初予算対比) 84.5% 前年度88.3%)

【課題】年間を通じた安定した利用率の達成と収支の均衡が喫緊の課題でありましたが、施設閉鎖が正式決定した後は、希望する移行先へ利用者を移行させること、また、最終営業終了後に日数もない中で、室内の片づけをはじめ残務整理等が十分に行えず苦勞した面がありました。今後、法人内の他施設でも同様な事例も考えられることから、設置者と十分に協議・検討を図り、余裕をもった撤退日程を確保することが必要と思われます。

【今後の取組】施設閉鎖にて各職員は新たな配属先へと異動できましたが、今後も一人ひとりが自己研鑽に努め専門知識の習得を図り、利用者対応に当たっていきたいと考えます。

【決算】事業活動収入	34,919,457 円	事業活動支出	37,777,916 円
その他の活動収入	500,000 円	その他の活動支出	1,198,800 円
収入計	35,419,457 円	当期資金収支差額	- 3,557,259 円
			(前期末支払資金残高から充当)

(9) やすらぎデイサービスセンター

【概要】いつまでも在宅生活を続けられるように身体機能維持及び生活の質の向上ができる介護サービスを提供しました。デイサービスを利用することによる他者との交流を通じて生きがいを持ち生活できることを職員一人ひとりが笑顔で支え、家族の身体的な負担軽減及び精神的な負担を支えるサービス提供を行うべく職員全員が笑顔で介護に従事しました。

【事業実績】

【事業実績】		m										
月	事業対象者	要支援1	要支援2	小計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小計	合計	
4	人	-	6	9	15	15	8	5	7	2	37	52
	回	-	28	57	85	86	64	22	55	33	260	345
5	人	-	6	6	12	15	9	6	8	3	41	53
	回	-	29	39	68	103	78	31	54	39	305	373
6	人	-	6	5	11	14	10	6	8	3	41	52
	回	-	26	33	59	90	74	36	65	42	307	366
7	人	-	5	6	11	15	10	6	11	3	45	56
	回	-	27	33	60	97	82	33	84	43	339	399
8	人	-	5	4	9	16	10	5	11	4	46	55
	回	-	21	28	49	95	80	21	71	52	319	368
9	人	1	5	5	11	14	10	5	10	4	43	54
	回	1	25	34	60	89	77	24	59	48	297	357
10	人	1	5	4	10	15	10	6	12	4	47	57
	回	5	24	31	60	93	88	45	61	52	339	399
11	人	1	4	6	11	15	11	6	10	4	46	57
	回	3	20	34	57	90	82	23	49	42	286	343
12	人	1	4	6	11	15	11	8	7	3	44	55
	回	4	20	30	54	86	77	50	32	41	286	340
1	人	1	4	5	10	14	10	8	7	3	42	52
	回	4	18	21	43	83	71	55	30	37	276	319
2	人	1	4	4	9	15	10	7	6	3	41	50
	回	3	18	21	42	94	77	44	32	39	286	328
3	人	1	4	4	9	15	11	7	6	3	42	51
	回	3	20	26	49	103	87	46	31	42	309	358
計	人	7	58	64	129	178	120	75	103	39	515	644
	回	23	276	387	686	1,109	937	430	623	510	3,609	4,295
前年度	人	0	89	96	185	172	145	76	70	40	503	688
	回	0	381	690	1,071	1,076	1,108	502	370	398	3,454	4,525

【研修・会議参加状況】

月 日	主な会議・研修	開催場所
令和2年4月21日	第1回職員会議	やすらぎデイホール
5月15日	第2回職員会議	やすらぎデイホール
6月23日	第3回職員会議	やすらぎデイホール
7月22日	第4回職員会議	やすらぎデイホール
8月26日	第5回職員会議	やすらぎデイホール
9月25日	第6回職員会議	やすらぎデイホール
10月29日	第7回職員会議	やすらぎデイホール
11月26日	第8回職員会議	やすらぎデイホール
令和3年1月9日	第9回職員会議	やすらぎデイホール
2月19日	第10回職員会議	やすらぎデイホール
3月19日	第11回職員会議	やすらぎデイホール

※その他 職員会議及び伝達研修を実施しています。

【成果】一日平均13.8人（昨年度14.6人、一昨年度15.0人）

新規契約者の確保による利用者増を目指しましたが、なかなか実績は伸びませんでした。利用回数の追加や振替利用については積極的に対応してきました。

（令和2年度 介護報酬目標達成度（当初予算比）：95.1% 前年度 91.1%）

【課題】職員のやりくりが厳しく、他事業所からの応援や休日出勤による対応等、サービス提供体制の整備が必要な状況で、いきいきと健康的に働ける環境づくりは重要と考えていますが、利用者増へ職員一丸となって対応してまいります。また、設備や車両の不具合も目立ってきています。

【今後の取組】3月末には福寿荘デイサービスセンターから移行した利用者に加え利用人数が増加しました。平均利用者数を保ちながら安定した経営を目指します。また、利用者の増加に伴い、介護サービスの質を低下させることなく職員の資質向上を行ない、安心安全なデイサービス運営に努めます。

【決算】事業活動収入	36,020,256円	事業活動支出	36,094,425円
その他の活動収入	706,414円	その他の活動支出	756,072円
		当期資金収支差額	-123,827円
		(前期末支払資金残高から充当)	

(10) 大谷デイサービスセンター

【概要】新型コロナウイルスに関する情報を収集し日々計測や消毒を行い、利用者及び家族の理解と協力を得ながら感染防止に努めました。また、利用者の状態把握に努め、介護者や居宅支援事業所等と連携を取りながら日々の支援に生かしました。例年と異なり地域交流の機会が減少しましたが、大谷幼稚園や大谷小学校とは間接的交流にてつながりを継続することができました。

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	2	9	11	17	6	6	2	2	33	44
	回	8	54	62	143	58	45	10	16	272	334
5	人	1	9	10	16	7	6	2	2	33	43
	回	4	54	58	127	88	39	12	14	280	338
6	人	1	9	10	15	8	7	3	1	34	44
	回	4	52	56	120	101	57	14	13	305	361
7	人	1	9	10	15	8	8	1	1	33	43
	回	3	55	58	136	98	46	2	12	294	352
8	人	1	9	10	15	8	7	1	0	31	41
	回	3	50	53	125	92	40	3	0	260	313
9	人	1	9	10	16	6	8	1	0	31	41
	回	3	51	54	140	68	49	3	0	260	314
10	人	1	10	11	17	5	6	1	1	30	41
	回	1	61	62	160	50	42	2	7	261	323
11	人	0	10	10	17	5	6	2	0	30	40
	回	0	54	54	154	55	38	9	0	256	310
12	人	0	10	10	16	5	6	2	0	29	39
	回	0	53	53	146	41	43	11	0	241	294
1	人	1	7	8	16	4	6	2	0	28	36
	回	4	42	46	129	43	32	9	0	213	259
2	人	0	7	7	16	4	8	3	0	31	38
	回	0	42	42	121	42	42	8	0	213	255
3	人	0	7	7	16	4	9	3	0	32	39
	回	0	47	47	143	50	51	12	0	256	303
計	人	9	105	114	192	70	83	23	7	375	489
	回	30	615	645	1644	786	524	95	62	3111	3756
前年度	人	14	123	137	215	98	49	23	19	404	541
	回	49	662	711	1,808	910	381	89	72	3,260	3,971

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和2年4月25日	送迎・安全運転について	大谷デイサービスセンター
5月26日	認知症ケアについて	大谷デイサービスセンター
6月30日	感染対策研修会	はまなすホール
7月7日	サービス従事者向け感染症対策研修会	はまなすホール
7月16日	運営推進会議	大谷デイサービスセンター
7月23日	新型コロナウイルス感染症対策について	大谷デイサービスセンター
9月25日	新型コロナウイルス感染症対策について	大谷デイサービスセンター
9月25日	災害対策について	大谷デイサービスセンター
10月21日	個人情報・プライバシー保護について	大谷デイサービスセンター
11月24日	感染対策について	大谷デイサービスセンター
12月3日	相談技法研修会	いこい
令和3年2月18日	職員スキルアップ研修会	社協本吉支所
	支所定例会議（毎月）	社協本吉支所

【成果】利用者の方々の心身状態の把握に努めるとともに、「食べる」ことが全身機能の低下予防に繋がることから、昼食前のストレッチや口腔体操、口腔ケアを支援し、軽体操や手製のレク用品にて身体を動かす機会をつくり、全身機能の維持を図りました。感染予防対策として日頃の対策の他、加湿空気清浄機や飛沫防止パネルの設置など環境衛生に努め、コロナ禍であっても楽しみや喜び、開放感や連帯感が感じられるよう行事や活動を工夫し、サービスを提供しました。

(令和2年度 介護報酬目標達成度(当初予算対比) 93.6% 前年度103.0%)

【課題】一人ひとり状態や環境が異なっていますが、認め合い支え合い励まし合う雰囲気は小規模ならではの良い面として継続しています。しかしながら、病状の変化や悪化により入退院を繰り返す方や長期の自宅療養となる方、他法人の事業所に新型コロナウイルス陽性者が発生したことによる家庭での療養、利用自粛、ショートステイの延長なども含め、利用が安定せず収入に結びつかない状況でした。

また、コロナウイルス感染予防を考慮し、対面での運営推進会議の開催が7月のみとなってしまいました。

【今後の取組】コロナウイルス対策を含め体調管理には十分配慮してまいります。コロナ禍であっても日々元気に安定して過ごせるよう、利用者の支援について連携を図り、長く利用いただけるよう家族支援も含め努めます。事業所のPRを関係機関のほか、地域にも定期的に発信していきます。また、運営推進会議委員の方々に定期的に事業所運営状況を伝え、意見をいただく機会をつくります。

【決算】事業活動収入	32,498,800円	事業活動支出	32,689,872円
その他の活動による収入	1,700,000円	施設整備等支出	367,200円
(運用基金事業から繰入)		その他の活動支出	850,152円
		当期資金収支差額	291,576円

(11) グループホーム・桑の実

【概要】「入居者様の思いに寄り添い、笑顔溢れる施設にいたします。」という施設理念とパーソンセンタードケアを念頭に置き、入居者の個別ケアを実践してきました。コロナ禍の影響により苑内での活動が主となりました。家族やボランティア等の入苑制限などで、入居者様がストレスを抱えないように留意し、事業を運営しました。

【事業実績】

月	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	0	0	0	4	3	1	0	1	9
	回	0	0	0	120	89	30	0	30	269
5	人	0	0	0	4	3	1	0	1	9
	回	0	0	0	124	93	31	0	31	279
6	人	0	0	0	4	2	2	0	1	9
	回	0	0	0	120	60	60	0	30	270
7	人	0	0	0	4	2	2	0	1	9
	回	0	0	0	124	62	62	0	31	279
8	人	0	0	0	4	2	2	0	1	9
	回	0	0	0	106	62	62	0	31	261
9	人	0	0	0	4	2	2	0	1	9
	回	0	0	0	92	60	60	0	30	242
10	人	0	0	0	4	2	2	0	1	9
	回	0	0	0	124	62	62	0	31	279
11	人	0	0	0	4	2	2	0	1	9
	回	0	0	0	120	60	60	0	30	270
12	人	0	0	0	4	2	2	0	1	9
	回	0	0	0	124	62	62	0	31	279
1	人	0	0	0	4	2	2	0	1	9
	回	0	0	0	124	62	62	0	31	279
2	人	0	0	0	4	2	2	0	1	9
	回	0	0	0	112	56	56	0	28	252
3	人	0	0	0	4	2	2	0	1	9
	回	0	0	0	124	62	51	0	31	268
計	人	0	0	0	48	26	22	0	12	108
	回	0	0	0	1,414	790	658	0	365	3,227
前年度	人	0	0	0	48	24	7	5	23	107
	回	0	0	0	1,464	731	204	148	688	3,235

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和2年6月30日	感染症研修	本吉町はまなすの館
7月7日	第1回運営推進会議	桑の実
8月11日	気仙沼市社会福祉協議会指定管理事業管理者会議	気仙沼市社協本所
9月2日	桑の实の今後の事業推進について（市による説明会）	燦さん館
9月14日	入居検討委員会	桑の実
10月27日	自衛消防訓練（総合訓練）※避難・消火訓練	桑の実
11月25日	自衛消防訓練（総合訓練）※避難・消火訓練	気仙沼消防唐桑出張所
12月9日	桑の实の今後の利用についての説明会	燦さん館
12月23日	第2回運営推進会議	燦さん館
令和3年1月29日	個人防護服の着脱に関する研修会	ワンテンビル庁舎
2月2日	桑の实の運営について家族会との意見交換会	燦さん館
2月10日	第3回運営推進会議（資料郵送による代替え開催）	桑の実
3月5日	第4回運営推進会議（資料郵送による代替え開催）	桑の実
3月23日	第5回運営推進会議（資料郵送による代替え開催）	桑の実
3月25日	入居検討委員会	鹿折・唐桑地域包括支援センター
3月31日	第6回運営推進会議（資料郵送による代替え開催）	桑の実
	・ケア会議（毎月1回）※個別ケア会議・認知症研修等	
	・スタッフ会議（毎月1回）※個別ケア会議・感染症対策等	
	・事故防止対策委員会（随時）※法人内、各事業所参加	
	・情報共有会議（随時）※法人内、管理者等参加	
	・管理者会議（随時）※社協内事業所、唐桑支所	

【成果】職員一丸となり公私共に感染予防対策の徹底に努めた結果、職員や入居者に感染者を出ることなく施設運営ができました。また、認知症研修等で職員のスキルアップに努めた結果令和3年度のサービス提供体制強化加算Ⅰ（22単位/日）の取得に繋がりました。

（令和2年度 介護報酬目標達成度（当初予算比） 99.6% 前年度99.7%）

【課題】コロナ禍での地域密着型施設としての役割を再度検討し、地域住民の方々やボランティア団体、協力医との連携をより充実させ、地域に根ざした施設づくりを考えています。さらに健全な事業運営を目指し、経費削減に努めるとともに、業務の効率化を図ることが喫緊の課題です。

【今後の取組】コロナウイルスの感染予防に努めながらも、地域社会と関わる機会を増やしていきます。また、今後も各種研修等に可能な限り参加し、職員の資質の向上に努め、地域社会に還元できるように努めます。

【決算】事業活動収入	35,512,170円	事業活動支出	38,176,158円
その他の活動による収入	4,900,000円	その他の活動による支出	1,470,096円
（運用基金繰入4,900,000円）		当期資金収支差額	765,916円

(12) もとよし福祉用具貸与事業所（福祉用具貸与）

【概要】福祉用具の有効活用による自立支援と介護者の負担軽減による介護機能の充実強化に努め、安心して在宅生活が継続できるようにサービスを提供しました。

【事業実績】

月	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4 人	2	22	24	13	16	11	13	10	63	87
5 人	2	22	24	13	15	9	17	11	65	89
6 人	2	23	25	12	15	11	17	10	65	90
7 人	4	24	28	11	15	11	18	9	64	92
8 人	4	23	27	13	16	11	16	9	65	92
9 人	4	22	26	14	13	13	16	8	64	90
10 人	4	24	28	14	13	11	19	8	65	93
11 人	5	25	30	16	14	11	17	6	64	94
12 人	6	23	29	18	15	11	15	9	68	97
1 人	7	21	28	19	13	9	15	10	66	94
2 人	6	21	27	19	14	9	14	7	63	90
3 人	4	21	25	18	14	9	15	7	63	88
計 人	50	271	321	180	173	126	192	104	775	1,096
前年度 人	36	251	287	181	198	136	191	94	800	1,087

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和3年2月1日	個人防護具の着脱に関する研修会	市役所 事業所（リモート対応）
2月18日	気仙沼市本吉地区小規模法人連携事業協議会職員スキルアップ研修会	
随 時	事業所内会議：定例会議及び伝達研修（随時開催）	

【成果】社協のサービス事業所として利用者の生活全般を支援できるよう、関係機関との連携を強化しながら総合的なサービスを心掛けて対応しました。また、5月より特定福祉用具販売事業に参入したことにより、今まで以上に利用者の自立支援や介護者の負担軽減に繋がるサービスを提供することができ、利用者が快適な在宅生活を過ごすための一助となりました。

（令和2年度 介護報酬目標達成度（当初予算対比） 96.7% 前年度108.9%）

【課題】利用者数は若干増えていますが、新規利用者のほとんどが介護度の低い方であることから、貸与する福祉用具の単価が低いものが多く、その反面、解約となる方は介護度が高く貸与する福祉用具単価も高い方となっていることから大きな売上増には繋がっていない状況にあります。

【今後の取組】職員のスキルアップを図りながら、利用者の在宅生活をより快適に支援できるよう努めていきます。事業の周知活動の強化を図り、利用者を増やしていきながら安定した経営に努めます。

【決算】事業活動収入	13,148,636円	事業活動支出	12,203,163円
		その他の活動による支出	430,298円
		（運用基金積立金への繰出し300,000円含む）	
		当期資金収支差額	515,175円

(13) もとよし福祉用具貸与事業所（特定福祉用具販売）

【概要】福祉用具の有効活用による自立支援と介護者の負担軽減による介護機能の充実強化に努め、安心して在宅生活が継続できるようにサービスを提供しました。

【事業実績】

月	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4 人										
5 人	0	0	0	1	1	0	1	0	3	3
6 人	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
7 人	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
8 人	0	1	1	1	1	0	0	0	2	3
9 人	0	0	0	1	0	1	0	0	2	2
10 人	0	0	0	1	1	0	1	0	3	3
11 人	1	0	1	0	0	1	1	0	2	3
12 人	0	2	2	1	0	1	0	0	2	4
1 人	1	2	3	2	1	1	0	0	4	7
2 人	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
3 人	0	0	0	1	0	0	1	0	2	2
計 人	2	7	9	8	4	4	5	0	21	30
前年度 人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
令和3年2月1日	個人防護具の着脱に関する研修会	市役所
2月18日	気仙沼市本吉地区小規模法人連携事業協議会職員スキルアップ研修会	事業所（リモート対応）
随 時	事業所内会議：定例会議及び伝達研修（随時開催）	

【成果】5月から本事業への新規参入したことで、これまで行ってきた福祉用具貸与事業だけでは対応できなかった利用者ニーズにも対応できるようになり、利用者の自立支援や介護者の負担軽減に繋がりました。

（令和2年度 介護報酬目標達成度（当初予算対比） 241.2% 前年度－％）

【課題】福祉用具貸与事業と違い利用者が使用しての変更がきかないことから、より利用者と福祉用具の適合性が求められることとなり、職員のさらなる資質向上が必要な状況にあります。また、月により販売品目に差があり利用者数に変動することから、先を見通して対応することが難しい状況にあります。

【今後の取組】貸与事業と同様に職員のスキルアップを図ります。安定した販売や経営を目指して、貸与事業と合わせた在宅生活を支援する福祉用具サービスの提供に努めます。

【決算】事業活動収入	822,690円	事業活動支出	792,809円
		当期資金収支差額	29,881円